



VOICE

読者のページ

2025年9月号(53巻9号)へ寄せられた
読者の皆様からのご意見・ご感想を紹介します。

特集

表在エコー スターターガイド

- 皮下腫瘍をエコーで見て分類できるとは知りませんでした。さらに浮腫までエコーで見られるとは思いませんでした。とても驚きました。 **さんさち (山口県)**
- ルーチンでは表皮嚢腫や石灰化上皮腫が大半です。本特集は汗孔腫など、はじめて知る腫瘍も多々あり、皮膚画像も掲載されていてわかりやすかったです。表在エコーのバイブルにします。 **ぺこら (三重県)**
- アテロームなどの脂肪腫なのか判断に困っていましたが、写真を確認でき、とてもわかりやすく感じました。成書にあたってもなかなか解決しなかったのが、重宝したいと思います。 **SI (長崎県)**

基礎講座

シリーズ 押さえておきたい血管機能検査 2. 皮膚灌流圧測定 (SPP)

- はじめて知る検査で、とても興味深い内容でした。非侵襲的ですが、測定には細かい注意点がたくさんあり、とても繊細な検査だと思いました。 **MK (千葉県)**
- SPP 検査の詳しい記事をありがとうございます。大変勉強になりました。靴下を脱いでもらった後、しばらく環境温度に近づけることをしていなかったのが、今度から実践します。 **さんさち (山口県)**
- SPP 検査を実施していますが、結果の解釈については知識が不十分でした。Wifi 分類に対応する SPP 値の表が、とても参考になりました。 **YT (東京都)**

MT Seminar

検査値だけでは決められない “輸血する・しない”の判断

- 輸血は担当部署でなくても当直帯に対応する分野です。不慣れな検査の情報が得られたり復習になったりして、本記事が印象に残りました。 **MA (兵庫県)**
- 検査値だけでなく、患者の病態や背景も意識する必要性をあらためて理解しました。他方、生命に危機的な出血には、検査値にとらわれずいち早く輸血を行う迅速性も重要だと知りました。 **ヒョウゴノヒト(兵庫県)**
- 輸血の判断は医師が行うため、今まではなぜ輸血が必要なのかを考えることもありませんでした。SI (ショックインデックス) などのはじめて知り、とても勉強になりました。 **YO (岐阜県)**

臨床検査 Q&A

血液像染色での上乗せ法と浸漬法の、 メリット・デメリットと注意点を教えてください。

- 両法ともルーチンで実施していたことがあり、今一度メリット・デメリットをおさらいできて良かったです。浸漬法での試薬の劣化の目安も知りたいと思いました。 **AK (高知県)**
- 普段は塗抹標本作製から染色まで全自動の機械任せなので、上乗せ法、浸漬法ともに学校の実習以来経験がありません。久しぶりに注意点を学び、各法の特徴を理解しておく重要性を感じました。 **AT (広島県)**
- 週末などの検体数が少ない時は上乗せ法にしています。あらためて比較すると、それぞれのメリット・デメリットがよくわかりました。 **YK (東京都)**

ご意見・ご感想は巻末の「ホットラインカード」、または Web アンケート
にてお寄せ下さい。ご投稿をお待ちしています！

